

会 議 録

会 議 名	平成29年度第2回小金井市文化財保護審議会（第6期）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	平成29年8月9日（水）午前10時から12時00分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎8階 801会議室		
出 席 委 員	田中委員（会長） 孤島委員 鈴木委員 椎名委員		
欠 席 委 員	二宮委員(副会長) 伊藤委員		
事 務 局 員	内田生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	無
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報告事項</p> <p>(1) (仮称)本町六丁目遺跡見学会について</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 文化財ウィーク主催事業について</p> <p>(2) 文化財説明板設置について</p> <p>3 その他</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 遺跡見学会資料（6月10日開催時） (資料1)</p> <p>(2) 遺跡見学会資料（7月17日開催時） (資料2)</p> <p>(3) 文化財ウィーク企画事業 (資料3)</p> <p>(4) (仮称)本町六丁目遺跡見学会来場者内訳等 (資料4)</p> <p>(5) 月刊こうみんかん（6,7,8月号）</p>		

会 議 結 果

田 中 会 長 おはようございます。第2回文化財保護審議会を始めたいと思います。それでは、次第に沿ってよろしく願いいたします。

1 報告事項

(1) (仮称)本町六丁目遺跡見学会について

山崎文化財係長 (仮称)本町六丁目遺跡見学会について、当日市民の方に配付しました遺跡の解説資料については、既に学芸員の方からご説明済みかと思えます。私の方からは、当日行いました受付簿、アンケート等の集約結果をご報告いたします。

この遺跡見学会については、武蔵小金井駅第二地区再開発組合、成和コンサルタント株式会社、武蔵文化財研究所のご協力を得て、6月10日(土)、7月17日(月・祝)の10時から15時まで、武蔵小金井駅第二再開発地区の遺跡発掘調査現場にて、2回行いました。当日、受付簿を作りまして、年齢層、住所地等をご記入いただいた方に資料とアンケートを配布し、アンケートには任意でご協力いただきました。その結果がこちらになります。

来場者数は、第1回目が1,497人、第2回目は1,305人でした。受付簿で把握している人数です。第2回目は気温も高い時期で、熱中症対策の意味もあり、正午から1時までの1時間、入口の門を閉じましたので、正確には1回目よりご来場いただける時間が1時間短くなっております。

次に来場者の内訳ですが、両日とも8割以上が市民の方で、会場から近い本町、前原町、中町にお住まいの方が多く、会場から遠い中央線の北側、梶野町、関野町、桜町の方が少なくなっています。

また、市外の方も小平、国分寺、府中の近隣市の方が多く来場されました。

男女比はほぼ半々、年齢層は多い順に1回目は、40歳代、50歳代、60歳代、30歳代、70歳代、10歳代、10歳未満、80歳代、20歳代、90歳代でした。2回目に10歳代前後の年齢層が上位にきたのは、夏休みの自由研究の一環として、市内の学芸大付属中学校、小学校の生徒さんの参加が多かったことが要因かと思われまます。

なお、市内の小中学校の校長会での呼びかけに応じて申込みがあった一小、二小、三小の6年生のクラス単位での見学会および教員対象の見学会を行いました。それぞれ生徒376人、教員40人の参加がありました。

学校見学の感想、一般見学の感想もあわせてのせてありますので、ご参考までにご覧ください。以上です。

田 中 会 長 前回の委員会後に委員の方も見学されていますね。私は、第1回の見学会に来ました。1回目は強風で、2回目は炎天下の中、日陰の無い会場でしたから、大変だったかと思えます。文化財係以外の方もお手伝い

くださったのですよね。

山崎文化財係長

事務局としては、1回目は文化財センターの非常勤嘱託職員2名の協力を、2回目は更に他の係から3名の協力も得て、課長の指揮監督の下、受付等来場者の対応を行いました。

今回、いずれの見学会も、資料の作成、説明は高木学芸員が中心で行いましたが、遺跡の発掘調査を担当された武蔵文化財研究所の方が、1回目は発掘調査の作業をしながら見学者への説明も丁寧にしていただき、2回目は、多数の来場者を想定して、現場の保安要員として、会場の要所、要所で多数待機され、説明にもあたってくださいましたので、大変好評でした。初めての試みでしたが、研究所から多数の職員の方のご協力が得られたおかげで、事故も無く終えることができました。

田中会長

縄文遺跡から戦時中の遺跡と時代の異なるものが同じ場所から発掘され、見ることができるというのは珍しいかと思います。

私の今までの経験からの印象としては、縄文遺跡は、現在は過疎地となっている場所や、あまり人が住んでないところに発見される場合が多かったように思います。

そうでないところが、小金井市の特徴かと思いました。

もう遺跡の現場を見ることはできないのですよね。これが最後ですよ。建物の工事が始まってしまいますので。

高木主事(学芸員)

今回の発掘調査は、再開発事業に先立って行われたもので、しかも再開発組合が主体となって発掘をされたものです。小金井市教育委員会としては、調査に係わる助言、指導という立場で係わりました。調査期間は今年の4月から7月の4か月間にわたって行われました。その結果、縄文時代をはじめ、旧石器時代さらには江戸時代と様々な時代の生活の痕跡が確認されたということで、かなり意義があったと思われます。これまでは小金井市は縄文時代の遺跡が有名だったのですが、その積み重ねの上に更に今回のデータが新たなデータとして更新できるものと思います。今回のように大々的に遺跡見学会を行ったことで、市内の遺跡の存在を市民の方に知っていただけただけでも大きな成果でした。

発掘調査は既に終わってしまっていて、今後の計画については、調査を担当しました発掘会社からは、今後整理作業、分析作業が行われまして、最終的には発掘調査報告書という形で来年度にその成果がまとめられる形となります。

田中会長

駅前の交流センターで高木さんが報告した報告会がありましたが、来年度は、今回の報告もされるのでしょうか。

高木主事(学芸員)

2月に報告した小金井の中世の遺跡に関する発表内容は、現在編さん中の市史に反映できるところは、反映していきます。

田中会長

皆様の方から何か質問がありましたらお願いします。

鈴木委員

一部でもいいから遺構を残して欲しいという意見は出なかったのでしょうか。

高木主事(学芸員)

遺跡の保存という観点になるかと思います。結論から申しますと、発掘調査で出てきたものは、一度全て再開発で大きく掘り返され、壊され

ます。そこで現状保存という形は不可能です。ただ、今後は、記録保存といった形で行っていきます。

調査成果を記録したものを今後どのような形で公開していくかは、今後の課題となってくるかと思えます。これはまだ決定事項でなく、これから進めていく話ですが、組合と今後交渉していく中で、施設の中に、展示スペース、ギャラリースペースを作っていけるかを調整、検討していくことになるかと思えます。

大規模な調査で、反響も大きかったのも、そういうお声はかなり多くいただいています。保存、公開というところで今後も進めていきたいと思えます。

鈴木委員 大阪のNHKのビルの隣に歴史博物館があります。建物が大阪城の遺構の上に建っている関係で、そこには、床がガラス張りで、部分的に見ることできる遺構があります。そういう方法もあるので、市民の人達の残したい意見が大きいのであれば、一部だけでも、そういうことも考えてもよいのかと思えます。

田中会長 今、世界遺産の登録に沸く風潮もあって、昔と比較すると、歴史的価値のあるものを大切にするようになってきていますね。皆さんに関心をもってもらえるようになって良かったと思えます。

椎名委員 再開発で、取り壊して地下室ができるのですよね。今の技術だと、落とし穴は、四角に切って、関東ローム層ですから垂直に切ってもくずれないのですよね。これをどこかに展示するようなことはできますよね。防空壕は規模が大きいので難しいと思うのですが。

興味があったので伺いたいのですが、見学会資料1の溝状遺構、根切り溝というのは、ここに入って根を切っていたという意味ですか。

高木主事(学芸員) はい。推定ですが。

椎名委員 こういうのは、考古学上であるものですか。根切り溝という名前です。

高木主事(学芸員) 深さはどのくらいですか。

高木主事(学芸員) 深さは、1 mくらいはありますね。

椎名委員 50 cmもあれば十分そうなのですが、これは、土地の境、畑との境、屋敷と畑の境ですか。

高木主事(学芸員) そこはまだこれからですね。

椎名委員 農作物を耕作するとき根が邪魔になっては困るので、効率が悪くなるのでね。とても興味ありますね。初めて知りました。

田中会長 動物をよけるためと説明されてい wasn't でしたか。

高木主事(学芸員) 正直言って、断定はできないのです。一つの溝に一つの役割を与えるというのは、考古学的には難しい話です。ここでは、新田開発をした場所の一部だということや、形状からも根切り溝であることが十分考えられます。もちろん動物から守る堀のような役割としても考えることはできます。あくまで推定にすぎません。

椎名委員 この幅はどれくらいでしょうか。

高木主事(学芸員) 実は浅いところと深いところがありまして、浅いところだと、2～

3m。深いところで、幅70cmくらいです。

椎名委員 十分根切りのできる大きさですね。根切りに限って考えればですが。あともう一つお聞きしたいのですが。第二回の見学会資料の方ですが、裏面に、野川中洲北遺跡のところで、カラマツの大木と書いてあるのですが、これは、カラマツがここにあったということですか。ここらへんに。気候の変動がかなりあったということですね。

高木主事(学芸員) 野川の川の流れていた低湿地の遺跡で、こういう有機質のものもかなり残っています。旧石器時代の地層から出てきたので、時代を特定することができました。当時の気候や植生を推察する上で重要な資料です。

椎名委員 分かりました。ありがとうございます。

鈴木委員 第2回目の資料の裏面なのですが、地層の観察で、3.5mとかなり深いのですが、これはどこかそんなに深く掘ったところがあるのですか。

高木主事(学芸員) 縄文時代の調査が終わった後、関東ローム層を部分的に10箇所。大きさは2m×2mで、四角い作業用の穴を3.5m掘り下げ、地層観察用と旧石器時代の痕跡を探る目的でここまで掘りました。

鈴木委員 もう埋めてしまったのですか。

よく科学博物館や自然系の博物館などで地層をみせるのに、アクリルで細長い容器を作って、中に地層を入れて見せている形をみかけるのですが、そういう形での展示ができないのかと思ったのですが、埋めてしまったのでしたら、できないわけですね。

椎名委員 第二回の見学会資料の中で、この時代には珍しい倒木痕が発見されています。とありますが。倒木痕は、倒れた木の痕、これは何ですか。

高木主事(学芸員) 遺跡で発見されている状態は、木は腐って残っていません。これも推定ですが、当時、風などの作用によって大きな木が傾いて倒れる際に、大きな太い根が下の地面を盛り上げて、地層を上部に持ち上げてしまい、地層の逆転現象がおきることがあります。古い地層が上に上ってくるというものです。堆積の仕方がおかしいので、断面的に見ても平面的に観察できます。他市の遺跡でも発見されるのですが、それと照らしあわせると倒木痕の可能性が高いです。

椎名委員 この裏ページの地層図の形がおかしくなっているのですね。

高木主事(学芸員) きれいな横線に入らないで、縦になってしまうのです。

椎名委員 (携帯で職員が撮影した倒木痕跡の画面を椎名委員に提示)

なるほど。これがそうですね。ありがとうございました。

高木主事(学芸員) 倒木痕という珍しい発見という部分だけで終わるのではなく、おそらく、そこからカラマツのように、古い環境も探れるのではないかと、これから詳細なところは調べていきます。何故倒れたという背景が解明できるかもしれないのです。

椎名委員 最近、我々の業界では、安全点検の重要性が叫ばれてまして、倒木痕は、興味深い話なのです。ありがとうございました。

孤島委員 遺跡を調査していくときに、大事な道、連雀どおりや小金井街道との関わり、まあ時代と共に変わってくると思うのですが。この時代には

もう既にこの道はあって、そのためにこの遺跡は、この道に関連してこうなっているというものが出てくると現代と非常につながってくるような気がするのですが。

高木主事 (学芸員)

孤島委員のおっしゃるとおり、遺跡と道とのかかわりは、非常に大事な考え方です。その考え方をもちつつ遺跡の調査は進めています。当然古い道が昔どういう筋にあったのか。現在ある道路が昔から踏襲しているものか、新しくできたものかは、遺跡を通じて分かる場合があります。今回の調査では、道路の跡、道跡が一部発見されています。道跡といっても、屋敷の中の路地のようなものかと思われませんが、おそらくそういうものが、古い江戸時代の連雀どおりから枝道としてのびていたものだろうと推測はできます。

道跡と溝状遺構、それぞれの走る方向、軸が連雀通りにあわせているのか、古い小金井街道の軸線にあわせているのか、まさにそういうことが密接な関連性を持っているものと思っております。更にいえば、それぞれの街道、小金井街道、連雀どおり、がどこまで遡れるのかということも、是非そういう調査が必要だと思っております。とても大事なことと思っております。

一つの調査だけで、答えは出せないと思います。今までの発掘調査の積み重ねと照らし合わせて、答えが出していければと思っております。

田中会長

議題に移りましょう。(1)文化財ウィーク主催事業、お願いします。

2 議 題

(1) 文化財ウィーク主催事業について

高木主事 (学芸員)

まず、東京文化財ウィークの関連事業として3つの企画事業を予定しています。資料3にのせているものが3つございまして、毎年、ガイドブックが東京都で作成されます。このパンフレットの中に、各自治体のイベントが紹介されます。まさに資料3のような形式で紹介されます。まず、展示では、『新収蔵資料展』を11月3日から12月24日まで開催します。今回は、市内の遺跡にスポットをあてます。文化財センターで所蔵している発掘出土資料に加えまして、終わったばかりの(仮称)本町六丁目遺跡の速報展示として、実物資料やパネル、写真を用いて紹介いたします。

続いて文化財講演会及び史跡めぐりの計画をご説明いたします。

今年は、江戸時代に武蔵野新田の開発と復興に尽力し、玉川上水にヤマザクラ並木を造ったとされる川崎平右衛門が没して250年の節目にあたります。小金井市内には平右衛門に係わる文化財が残されています。平右衛門にちなむイベントを二つ企画しました。

文化財講演会は『川崎平右衛門と小金井』として、11月11日(土)に行います。江戸東京たてもの園の真下学芸員に講師を依頼しております。江戸東京たてもの園で今年の春に開催されました『川崎平右衛門展』をご担当された方です。小金井地域の文化財や古文書、川崎平右衛門について非常に精通された方です。

もう一つ、史跡めぐり、こちらにも市内に残る川崎平右衛門ゆかりの文化財や史跡を解説しながら案内します。歩くエリアについては、主に玉川上水近辺とし、市の職員が案内いたします。

田中会長 いつも孤島委員が真蔵院にある川崎平右衛門供養塔についてお話しされていましたが、その後どうなりましたでしょうか。

孤島委員 補修に関しては、具体的にはまだなのですが、現状は、風雨にさらされないように囲いがされ、表面に掘られている文字も読みにくくなっていましたので、補助として、説明を囲いにとりつけ、皆さんに見やすいように用意されておりますので、当面はよいと思います。補修に関しては、きちんと手を打たないといけないと思っています。

田中会長 史跡めぐりの視察先にも入るのですよね。

高木主事(学芸員) はい。

孤島委員 陣屋跡については、説明板が欲しいと思っております。

田中会長 川崎平右衛門については、埼玉県鶴ヶ島市との関連や流れがありま
すよね。史跡めぐりでも扱うのですか。

高木主事(学芸員) 今回は、市内の史跡を対象にしています。

田中会長 埼玉とは交流があるのですか。

高木主事(学芸員) 直接的にはないです。

孤島委員 府中市の方で主に中心になって、関連の地域と一緒に記念イ
ベントを行っています。当面は11月23日にイベントを企画されていま
す。詳しいことは分かりませんが、何回かにわたって行っているよう
です。石見市の方も相談にきて、関連しているようです。関連した市は後
援という立場ですので、実際に行っているのは、学芸大学の石先生が
中心になったグループのようです。

田中会長 各地にあって、埼玉県と東京は、昔は武蔵の国で一緒だったのですか
ら。

孤島委員 鶴ヶ島市の方の石造物はもう補修を始めていると聞きました。もう終
わったのかどうかは分かりませんが。石塔を水の中につけて、それによ
って中からの亀裂が水の力によって亀裂が悪化するのを防ぐ措置のよ
うです。

田中会長 亀裂が戻ることはないですね。

孤島委員 亀裂がすすむのを防ぐことはできるようなのですね。砂岩なので、ど
うにも表面からは手がつけられないのです。

新収蔵資料展の遺跡展示の際には、発掘調査会社の方の見解を聞く機
会は無いのでしょうか

高木主事(学芸員) (仮称)本町六丁目遺跡の調査をされた会社の方が直接お話する機会
については、今後検討させていただきます。

田中会長 今は調査会社が発掘調査をしていて、教育委員会がやることは少なく
なっていると聞いています。

今回調査をされた会社は、いろいろな所の発掘調査をされている会社
なのですか。

高木主事(学芸員) そうですね、各地の発掘を手がけている会社です。

田中会長 東京に限らず、全国をまわってれば、かなりのデータを持っているのですよね。

高木主事(学芸員) いろいろな遺跡を掘っているので、いろいろな時代の遺跡を見てきて、いろいろなデータを持っている強みはあります。

孤島委員 でも発掘調査会社の中間報告を見せていただけるのは、すごい楽しみです。

田中会長 その方達の調査報告は聞きにいけるのですか。

高木主事(学芸員) 書類としての報告です。概要ですので、十数頁です。

田中会長 次の回のときにそれはありますか。を見せていただだけでもいいです。期待しています。専門の発掘調査会社の方がそんなに各自治体の遺跡の発掘をやっていることすらよく知らなかったですから。

それでは、説明板についてお願いします。

(2) 説明板の設置について

高木主事(学芸員) 今年度は「陣屋跡」についての説明板の作成を計画しています。

陣屋については、江戸時代に南武蔵の新田開発のために玉川の近く、現在の関野町に設置されました。川崎平右衛門と非常に密接な陣屋跡でした。今回の説明板は、今後、文案を作成して、委員の皆さんに内容の確認をお願いして、その後設置というはこびになるかと思います。その際はよろしく願いいたします。

田中会長 いつも、1年に1回、1箇所の設置を予定していて、それをこの時期には決めておかないと、2月頃までには作成できないということですよ。今年度はここだけですか。

高木主事(学芸員) 次回、11月の審議会又はその前段階で、皆さんに文案を提示した上でご意見を伺いたいと思います。

田中会長 古くなったのを新しくしたいというのも。

高木主事(学芸員) 新しく作る以外に、改修等、付け替えについては、今後の課題です。メンテナンスの経費については、予算との関係もございますので。

田中会長 サンシュユについては、1回取り消したのをまた新しく指定するときは、又説明板も新しくするのですか。

高木主事(学芸員) それについては、ご専門の椎名先生のご助言をいただきながら、どうしていくかということは具体的にご議論いただきたいと思います。

田中会長 陣屋跡にはスタートとゴールがあってもよいのでは。

陣屋道というのもあるのですよね。線路のそばでしたか。

高木主事(学芸員) ルートの1箇所にあります。今回はその史跡のエリアに対して1箇所設けるといいます。

椎名委員 陣屋道はあとからついたのでですか。

高木主事(学芸員) そうです。

椎名委員 陣屋橋と同じですか。

高木主事(学芸員) はい。

田中会長 陣屋跡があつての、それに通じる道があり、それに通じる橋があります。

椎名委員 大切にはしているのですね。行政としてね。それで板ができれば揃いますね。埼玉の方は、きちんとしてますよね。

田中会長 見てないです。

椎名委員 石碑のような石に書いてありますよね。建物はないですが。

高木主事(学芸員) 川崎大明神ですね。

椎名委員 川崎神社みたいなのはあるのですか。

高木主事(学芸員) 川崎神社は岐阜の方にあります。

椎名委員 岐阜、そうですね。木曾川の中洲のところにあります。川崎神社という立派な神社がありますね。

高木主事(学芸員) 陣屋跡とは今は全く未指定の史跡なので、説明板を設置するだけでなく、今後文化財としての評価付けも必要かと考えています。

田中会長 都内では小金井市以外には平右衛門関係のものは無いのですか。

高木主事(学芸員) 陣屋に絞りますと、小金井市だけです。

田中会長 ゆかりの地などは。

高木主事(学芸員) ゆかりの地は、平右衛門は府中が出身地でしたので、府中にございます。国分寺市にも報恩塔がたっております。

椎名委員 平右衛門は常駐したわけではないのですね。3日に1回とかで来るのですね。

高木主事(学芸員) 平右衛門の部下ですね。部下である小金井の名主と連絡をとりあって行っていました。

田中会長 府中も常駐はしていなかったのでしょうか。

高木主事(学芸員) そうですね。もう名主は、平右衛門の弟に譲ったので。本人自体は代官という形です。

椎名委員 屋敷は都心の方にありますよね。

孤島委員 お墓は府中の龍光寺というお寺にあります。

椎名委員 川崎平右衛門は、最近話題になっていますが、没後何年とか生誕何年とかあるのですか。

高木主事(学芸員) 今年が没後250年です。

椎名委員 そうなのですか。

高木主事(学芸員) 川崎平右衛門定孝。武蔵野新田の中心的人物です。平右衛門の名前は、代々襲名しています。

椎名委員 代々平右衛門を名乗っているのですね。

府中郷土館では、大々的に行っていますね。江戸東京たてもの園でもやってくれるといいですね。

孤島委員 この前まで展示会をやっていました。

椎名委員 木曾、石見、埼玉などゆかりの地ではイベントを行っていますね。東京だと生誕地の府中、小金井桜の小金井。

田中会長 盛大に行われていますね。

椎名委員 私も調べているのですが、吉宗の花見どころの開発というのは、飛鳥山、御殿山、それはみな江戸から近いのですね。日帰りできるのですね。小金井だけ日帰りが無理なのですね。1泊する必要があります。たぶん当時は府中に泊まったのでしょうね。何故小金井なのかが最大の謎

すね。その当時1泊の遊山が伸びてきたという状況があったのかわかりませんが。

田中会長 武士は馬があるから日帰りができたのですよね。

椎名委員 鷹狩りですか、遠出ですよね。それなら話は分かるのですが。

田中会長 馬で来ている。

椎名委員 鷹狩りとか、馬での遠出 逆に言うと、そこに意味がある。所謂名勝小金井は意味があると思うのです。吉宗が何のためにが分からない。

田中会長 武士は馬だから日帰りが出来たはずですよね。普通の人にはできないですよね。

孤島委員 吉宗と川崎平右衛門との個人的な関係が結構大きいのではないのでしょうかね。

田中会長 講演会で、そのような話もでてくるかもしれませんね。

高木主事(学芸員) 文化財講演会の講師は、古文書に非常に精通している方ですので、今の辺の疑問についても何か回答が得られるかも知れません。

椎名委員 中央線沿線くらいなら、桃園かな。桃の林も作ったのですよね。杉並あたりにありますね。桜だけではないですよね。御殿山は、はぜの木とか紅葉ですがそのような木も植えていますよね。春と秋の行楽で。

杉並あたりなら日帰りで行けたと思うのですよね。甲州街道沿いですからね。

(庁内放送により午前11時2分に長崎被爆者の冥福と世界恒久平和を祈念し黙祷)

田中会長 小金井には古墳は無いのですか。

高木主事(学芸員) マウンド状のお墓は小金井には無いです。国分寺には、国分寺崖線の横穴に掘ってお墓を作ったものがあります。三鷹市ですと、天文台の敷地の中に、上円下方墳というとても珍しいものがあります。

主にあるのは、多摩川の近くが多いですね。

田中会長 勢力の強い人達がいたところに来るとも聞いていますが。

孤島委員 質屋坂を降りてすぐ右側のところにある田中家の墓地に古墳だったらしいといわれているところがあるようですが。

高木主事(学芸員) ここからも見えるのですが、古墳状の塚と思われるものがあります。非常に古い時代のもので、それを解明するには、発掘調査といった手法があります。現時点では、その周辺から埴輪だとか古墳時代の器が発見されたという話は全く無いので、時代は不明です。

私は、2月の遺跡調査報告会でこの塚の話をしたのですが、塚からは、中世の板碑が出土しているところから、江戸時代に遡るか、室町時代に遡るか、発掘調査をしたら古墳時代の石室が見つかるかもしれません。

田中会長 古墳があるところは、その周辺にいくつかありますよね。一つだけあるのは、考えにくいですよね。無いのでしょうかね。きっと。

椎名委員 「まいまいず井戸」の跡というのはありますか。

高木主事(学芸員) 聞かないですが、あってもよいかもしれません。遺跡のエリアから離れているところであるのかもしれない。

椎名委員 江戸時代以前の街道の近くかもしれません。小平も鎌倉街道沿いかも
知れません。

先ほどの街道沿いとも関係があるのかもしれません。

田中会長 それでは、その他、お願いします。

3 その他

高木主事(学芸員) 一つめは、府中市主催のイベントで、川崎平右衛門没後 250 周年記念
イベントで、平右衛門と小金井との関係について、小金井市長がよばれ
まして、トークショーにて話されました。府中では、年間を通じてまだ
イベントがあるようです。

その他でのもう一つは、前回、第1回の審議会の中で、伊藤委員から
お話がありました。旧中村研一邸の建物の文化財の指定もしくは登録に
ついてのご意見がありました。委員のお考えとしては、評価としては、
国の登録文化財にふさわしいのではないかとご意見がありました。現
在、登録についての手続きについて調査をすすめております。

建物に関しては、伊藤委員と調整をしたうえで、実現できるかどうか
ということは、今後鋭意進めてまいりたいと思います。また、進展が
ありましたら、この審議会の場でも報告させていただきたいと思いま
す。

田中会長 我々はいいのですが、新しい委員の先生方がご覧になっていないかも
しれません。

鈴木委員 行きました。

田中会長 そうですか。

鈴木委員 小金井市では、他に市の登録文化財指定されている建物はあるのです
か。

高木主事(学芸員) 市では、江戸東京たてもの園に展示されている建物が3棟ございま
す。小金井由来の物ではないです。

田中会長 東京都から市の指定にしないかとのお話があり、1年間その件で明け
暮れた記憶があります。

高木主事(学芸員) 市の由来で、もともと市で作られた建物で指定はされていないです。
登録も無いです。1件、大澤家の稗倉、穀物を納める倉ですが、これは
指定されていますが、それ以外は無いです。

今回旧中村研一邸、近代建築ですがそれが登録となれば、小金井市で
は初めてになります。

田中会長 もう1件民家を見に行った記憶がありますが。

高木主事(学芸員) 旧谷口家です。その脇に大きなイタヤカエデがござい
ます。

田中会長 それは指定されたのですよね。家はまだですね。

高木主事(学芸員) はい。現在もお住まいで、所有者の許可が必要なところ
です。

旧中村研一邸については、市の所有となっております。

鈴木委員 資料3でいただいた講演会ですが、講師名が書いてないのですが。
入れてもらった方がよいですね。

高木主事(学芸員) 小金井市の市報等には、講師名はお知らせしています。

その他事項でもう一つございます。文化財センターの敷地、浴恩館公園の中に、昭和前期の小金井橋の親柱がございます。それについて、保存管理方法にご意見、陳情が寄せられまして、それに伴いまして、そのような大きな文化財について小金井市ではどのような基準で保存、保管する予定か、ガイドラインを作って素案として、皆さんにご意見を伺いますので、その際にはよろしく願いいたします。

これまでは、学芸員の判断に基づき、ものによっては、審議会に諮って決めてきたところです。

田中会長 それ以外はよろしいでしょうか。

次回の日程は、11月8日（水）10時からで会場は文化財センターですね。

山崎文化財係長 はい。その際には文化財ウィーク、企画展も始まっておりますので、ご覧になれます。集合場所については、後日ご連絡いたします。

田中会長 それでは、本日の審議会これで終わりにします。どうもありがとうございました。

全 員 ありがとうございます。